

4月から「成人年齢」20歳から18歳に引き下げ

日本では今年の4月からおよそ140年ぶりに、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられました。世界の成人年齢を見ると、これまでは20歳が成人年齢の国は、日本とニュージーランドでしたが、日本は18歳に引き下げられました。その一方、アメリカやイギリス、イタリア、オーストラリアなど多くの国では18歳が成人年齢とされています。

今回の成人年齢の引き下げで、18歳からできることが変わりました。18歳から車、携帯電話、ローン、クレジットカード、賃貸住宅など親の同意なしで契約ができるようになりました。また、10年有効パスポートや公認会計士・司法書士・医師・薬剤師などの国家資格の取得ができるようになりました。そして、結婚が可能な年齢は女性はこれまでは16歳でしたが、男女とも18歳になりました。さらに、性同一性障害の人の性別変更の申し立てや、日本へ帰化、国籍の選択なども18歳からできるようになりました。

しかし、飲酒や喫煙はこれまで通り、20歳からで変わりません。

参考：4月から変わること 主な制度改正まとめ : Yahoo!ニュース 2022/04/01

海外では何歳から大人?18歳 成人年齢引き下げ : NHK NEWS WEB 2022/01/13

4月から成人年齢が18歳に なぜ?何が変わる?【わかりやすく】 : NHK NEWS WEB 2022 /03/29